

## 令和4年度 学校評価 山南中学校パワーアッププラン

### 1 目標・方針

中期的な学校運営の目標・方針	【教育目標】ふるさと山南を愛し、社会の変化に柔軟に対応できる生徒の育成 —全ての生徒・教職員の可能性を最大限に引き出し、生き生きと活動できる学校—
本年度の重点目標	○人権尊重の精神を基盤にした学校教育の充実 ○自学自習・自走できる生徒の育成に向けた授業改善と教育活動の焦点化 ○基本的な生活習慣や規則正しい生活リズムの徹底 ○「地域とともにある学校」を推進し、統合中学校開校に向けて準備を整える

### 2 自己評価 (達成状況 A:優れている B:おおむね良好 C:やや改善 D:要改善)

領域	観点	評価項目	達成状況	学校の取組状況と改善の方策
学校運営	学校運営	統合推進	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>統合に向け作った組織を活性化させ、様々な準備を進めることができた。また、新旧の生徒会でも合同で協議を進め、子どもたちの手でも学校づくりに取り組ませることができた。</li> <li>コロナ禍もあり、地域に対して学校を開放する活動ができなかった。統合に向けて地域との連携は必須事項なので、今後も工夫を模索していく。</li> </ul>
教育課程	教育課程	授業のUD化	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>国や丹波市の学力学習状況調査において、すべての学年で全国の平均値を上回った。特に3年生は5ポイント前後上回り授業のユニバーサルデザイン化の取り組みの成果だと考える。</li> <li>授業の内容を理解できているかの問いに対して生徒アンケートでは約90%の生徒が肯定的に回答しているが、そうでない生徒に対するの個別最適化した支援が課題である。</li> </ul>
課題教育	課題教育	人権教育	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍で他との関りが制限される中、自己肯定感を問うアンケートでは昨年を少し上回り81.5%の生徒が肯定的な回答をした。行事や各学年の取り組みで生徒を主体的に活動させた結果だと考える。</li> <li>校内の人権学習会や「さくら学級」の取り組みを基盤とし、そこに各学年での学習を積み上げることができた。</li> <li>情報モラルの充実などネットの利用の仕方は課題である。</li> </ul>

### 3 学校関係者評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>授業のUD化は評価できる。学力向上に向け今後も継続してもらいたい。</li> <li>自己肯定感の持たせ方は難しい。自分の思いを主張することと周囲の状況を考慮する、社会を見るバランス感覚が必要である。</li> <li>子どもの権利条約で「参加する権利」が取り上げられる中、統合中学の生活のルール作りに子どもたちが参加できたのはよかった。今後も子どもの意見を尊重してほしい。</li> <li>次年度、環境が大きく変わる中で不登校等が増加しないか心配である。一人ひとりに寄り添った支援をお願いしたい。</li> </ul>
--

### 4 次年度の改善の方向性

<p>次年度はいよいよ統合初年度となる。これは新入生だけでなく、全ての生徒にとって大きく環境が変化するということである。そこで、しっかりと1人ひとりの生徒に寄り添いながら支援していく必要がある。また、本校の良き伝統である「授業のUD化」や「人権・平和教育」などは統合中学校にもしっかりと引き継いでいきたい。</p> <p>統合後は「地域とともにある学校」創りを目指しての組織作りも推進していく必要がある。地域やPTAとの連携をさらに強化していく。</p> <p style="text-align: right;">令和5年3月17日 学校名 丹波市立山南中学校 校長名 荻野 圭裕</p>
---